

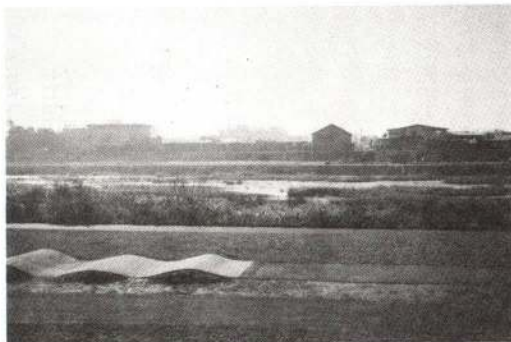
大館の歴史散歩

火内の山々 ①

土 飛 山

かつて市立総合病院周辺とその西側の小高い丘とはひと続きの山で、「土飛山」と呼ばれていた。現在の豊町である。かつては長木川方面に広々とした田んぼが見渡せ、春には市内の桜の名所としてにぎわった。

この地が歴史の表舞台に登場したことはほとんどないが、十六世紀後半の天正年間に、南部の家臣大光寺左エ門光愛が、大浦為信(のちの初代津軽藩主)と戦い敗れ、大館に逃れて土飛山にしばらく居住していたと



▶長木川沿いから土飛山方向を望む

伝えられている。

この戦いの起こりは、南部の当主信直が、津軽三郡の郡代として弟の政信を浪岡城に派遣し、政信の後見役である大光寺を土浦城(青森県平賀町)に、古くから津軽に住み南部氏の家臣となつた為信を西根城(青森県岩木町)に置いたところから始まる。大光寺と為信は仲が悪く、為信は「大光寺に逆心の企てあり」と郡代政信をだまし、大光寺の追い落としを計った。このため天正二年(一五七四)、大光寺は土浦城を退き、大館の土飛山に落ちのびた。なぜ土飛山に落ちのびたのかは不明であるが、土飛山は空堀を巡らした城館で、市内の城館の中では広い縄張りをもっている大規模なものである。

再び大光寺が大館の歴史に現われるのは、天正十六年のことである。当時大館は秋田実季の支配となり、南部氏との間で緊張状態が続いていた。この時、秋田氏家臣五城目兵庫及び和田内膳が「大館城代」と「一方の鎮将」(十二所を指すか)として派遣

されていたが、兵庫は主君の寒季に含むところが、大光寺はこれ幸いとばかり兵庫に対し逆意をすすめている。これにより兵庫は南部に内通し、大光寺は南部軍を大館に導き、大館城は南部の手に渡る。大光寺はこの功により、南部に帰参できた。しかし、南部の支配はこの後わずか二年で終わっている。地域開発が進む中で、山は幾度となく削られ、土飛山というユニークな名の山の面影は、今となってはほとんど感じとることとはできない。また、時代の推移によってその地名すら忘れ去られようとしている今、せめてこの地にゆかりのある人物を通して、四百年前の大館を感じていただけたらと思う。

市役所史跡探訪会

私の本棚

中央図書館新着図書

「生 還」 石原 慎太郎 著 新潮社

胃がん末期を宣告された主人公が、家族とも別離しひとりっきりで、ある酵素を飲み続ける治療を試みる。やがて社会に復帰することになるが…。孤独・生と死の葛藤をテーマに展開する本年度平材たい子賞受賞作。



一般書 ◇トパーズ(村上龍) ◇幻想都市(西村寿行) ◇茶も、ありがちに(秦恒平) ◇青春の供花(森村誠一) ◇産婦人科病棟(江川晴) ◇私の映画手帖(辻邦生) ◇五条坂陶芸のまち今昔(田村喜子) ◇典奴ペルシャ湾を往く(森下典子) ほか

児童書 ◇ぶわぶわ亭空を飛ぶ(ウィリス・ホール) ◇はっこう博士大かつやく(末松茂孝) ほか

11月のテーマ関連図書コーナー

『みちのくゆかりの人々』

親子読み聞かせ会

毎週金曜日 午後2時30分から

中央図書館の休館日

11月20日、23日、24日

農家の皆さんへ 国保税の納期を 延期します

十一月は国民健康保険税第三期の納期です。誓約農家以外の農業所得者で、農作物に被害を受けて米代金等の収入が遅れ、保険税の納付に支障のある方について、納期を十二月二十五日まで延長しますので、希望する方は納付書を持参して、十一月三十日まで保険課保険係(内線242)においでください。なお、誓約農家の方については、国保税、市民税、固定資産税の口座振替日を十一月二十日から十二月二十日に延長します。※市民税、固定資産税の納付相談は、税務課収納係(内線226)にお問い合わせください。